

三陸鉄道リアス線 全線開通記念



さんてつくん



かまリン

釜石の

鉄道展

つながるリアス～三陸の鉄道アーカイブ～



三陸鉄道 36-700 形気動車

釜石市郷土資料館アウトリーチ企画展

第1期 **3/18** (月)～**3/31** (日) 9時～19時・3/20 (水) は休館

会場 **釜石市民ホールTETTO ギャラリー&共通ロビー**
(釜石市大町1-1-9 / 釜石駅徒歩10分)

主催 / 釜石市民ホール TETTO (お問い合わせ ☎0193-22-2266)

共催 / 三陸鉄道株式会社、釜石市 協力 / 東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社

入場無料
下車前途有効

第2期 **4/27** (土)～**5/27** (月) 9時30分～16時30分
(16時最終入館、火曜日休館、4/30は開館)

会場 **釜石市郷土資料館企画展示室**
(釜石市鈴子町15番2号 / 釜石駅徒歩5分)

主催 / 釜石市郷土資料館 (お問い合わせ ☎0193-22-2046)

共催 / 釜石市 協力 / 三陸鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社 (50音順)

入場無料
下車前途有効

三陸鉄道リアス線 全線開通記念

つながるリアス～三陸の鉄道アーカイブ～ のご案内

複雑なリアス式海岸で構成された三陸沿岸を一本の線路で結ぶ三陸縦貫鉄道は、大正 11 (1922) 年に国の建設鉄道予定路線となって以来、釜石をはじめ沿岸住民の悲願となっていました。昭和 59 (1984) 年 4 月 1 日の三陸鉄道南リアス線と北リアス線の開業で、三陸鉄道とJR東日本の路線からなる三陸縦貫鉄道が全通しました。しかし、平成 23 (2011) 年の東日本大震災は三陸沿岸の鉄道にも壊滅的な被害をもたらします。

今回の展示では、東日本大震災の壊滅的な被害から、三陸鉄道リアス線が盛から久慈までを結ぶ日本最長の第三セクター鉄道として全線開通するまでの経緯と、釜石を中心とした三陸の鉄道の歴史を、釜石市郷土資料館が所蔵する貴重な収蔵品や借用した鉄道写真、動画等でご案内するものです。復興に向けて力強く歩み続ける釜石や三陸のこれまでとこれからをぜひご覧ください。

平成 31 年 3 月 釜石市郷土資料館

主な展示予定品



大槌駅吉里吉里駅鉄道開通記念薬缶
(昭和12年)



三陸鉄道開業記念和手拭
(昭和59年)

その他鉄道関連の写真、切符、鉄道関連品の展示、動画上映を予定しています。